

守山企業景況調査報告書

(第 63 回)

令和 7 年 4 月～令和 7 年 6 月期 実 績

令和 7 年 7 月～令和 7 年 9 月期 見通し

守山企業景況調査について

(令和7年4月～令和7年6月期)

1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 70 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax、クラウドシステム等により回収した。

2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	18	14	77.8%
製造業	14	12	85.7%
建設業	12	10	83.3%
サービス業	20	19	95.0%
卸売業	6	5	83.3%
合 計	70	60	85.7%

3. 調査期間

調査期間は、実績を令和7年4月～令和7年6月、見通しを令和7年7月～令和7年9月とし、調査時点は令和7年7月25日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指標としてDI指数を採用した。DI指数とはDiffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算（経常利益）」、「従業員」のDI指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」のDI指数は3カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算（経常利益）の水準」のDI指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

調査の概要

令和7年4月～令和7年6月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果はDI指数（景気動向指数）を用いて示している。

DIは、「増加」「好転」等の企業割合から「減少」「悪化」等の企業割合を差引いた数値である。そのため、DIが±0の状態であれば、「増加」「好転」等の企業割合と「減少」「悪化」等の企業割合が同じであることを示し、プラスの数値であれば「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも多いことを示す。逆にDIがマイナスの数値であれば、「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも少ないことになる。

また、グラフは右肩上がりになれば良い方向に向っていると判断でき、右肩下がりになれば良くない方向に進んでいると考えられる。

令和7年4月～6月期の調査結果では、売上高、採算、資金繰りの3指標の数値が低下した。

<業況>

業況DIは▲20.3で前回調査の▲24.2から3.9ポイント上昇した。業種別では、小売業▲28.6（前回調査比▲9.8）、製造業▲16.7（前回調査比+19.7）、建設業▲30.0（前回調査比+3.3）、サービス業▲22.2（前回調査比±0.0）、卸売業20.0（前回調査比+20.0）と小売業以外は上昇した。7月～9月期見通しは全体で▲1.7である。

<売上高>

売上高DIは▲8.3で前回調査の▲3.2から5.1ポイント低下した。業種別では、小売業▲28.6（前回調査比▲22.3）、製造業0.0（前回調査比+36.4）、建設業▲20.0（前回調査比▲11.7）、サービス業▲5.3（前回調査比▲15.8）、卸売業40.0（前回調査比±0.0）であり、製造業だけが上昇した。7月～9月期見通しは全体で5.0である。

<採算（経常利益）>

採算（経常利益）DIは▲27.1で前回調査の▲20.0から7.1ポイント低下した。業種別では、小売業▲42.9（前回調査比▲16.2）、製造業▲50.0（前回調査比▲22.8）、建設業▲20.0（前回調査比+5.0）、サービス業▲16.7（前回調査比±0.0）、卸売業20.0（前回調査比▲5.0）で小売業、製造業、卸売業で低下した。7月～9月期見通しは全体で▲20.3である。

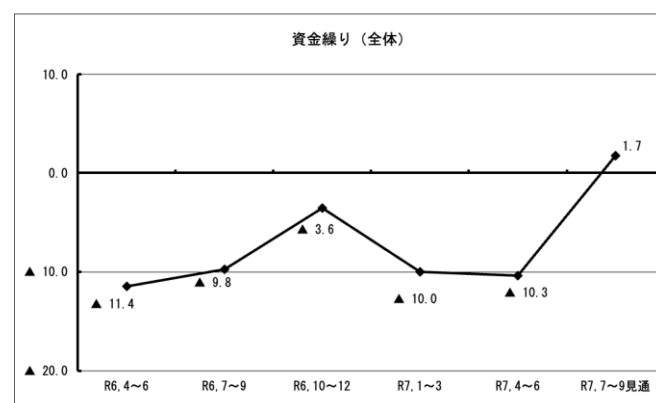
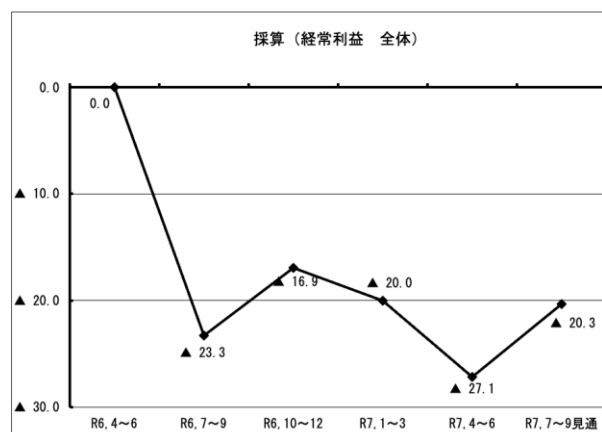
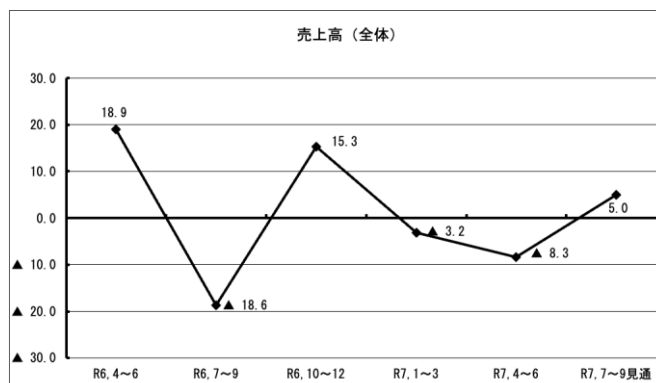
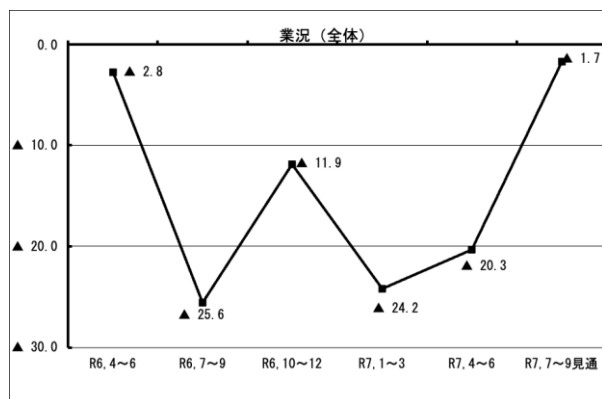
<資金繰り>

資金繰りDIは▲10.3で前回調査の▲10.0から0.3ポイント低下した。業種別では小売業▲7.1（前回調査比▲0.5）、製造業▲25.0（前回調査比▲6.8）、建設業▲10.0（前回調査比▲1.7）、サービス業▲11.8（前回調査比±0.0）、卸売業20.0（前回調査比+20.0）で小売業、製造業、建設業で低下した。7月～9月期見通しは全体で1.7である。

トランプ関税の影響、国・県・市の経済対策、各種イベントや地域のトピック

- ・売上拡大に伴う人材確保難及び社員の高齢化（サービス業）。
- ・関税によって企業の調達コストが上がり、結果として消費者価格が上昇している。
- ・人材不足が深刻（建設業）。
- ・資材価格の高騰。

- ・ 物品価格の上昇、企業再編リストラ等で、部品入手困難となっていることで、受注の先送りが発生している。
- ・ トランプ関税が回り回って影響は零細商店にも出ると思う。
- ・ 商品の仕入額については上昇傾向が続いている。
- ・ 最低賃金上昇に伴い短時間従業員の労働時間の減少が問題視されている。
- ・ 顕著には出ていない（小売業）。



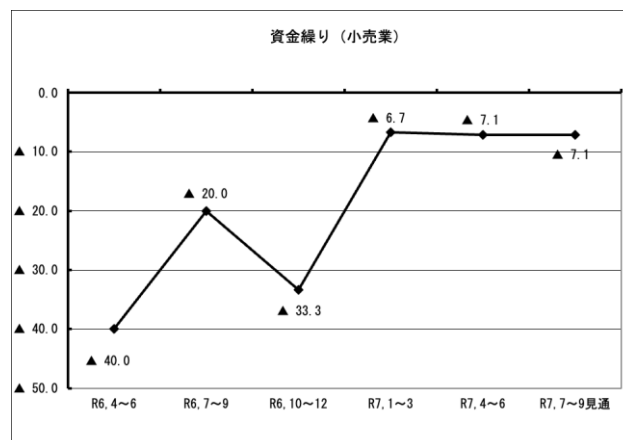
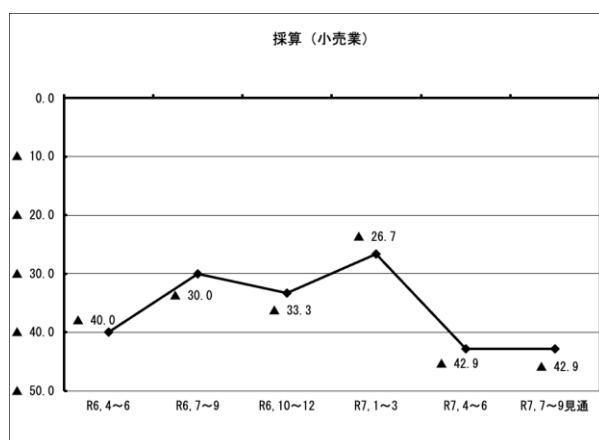
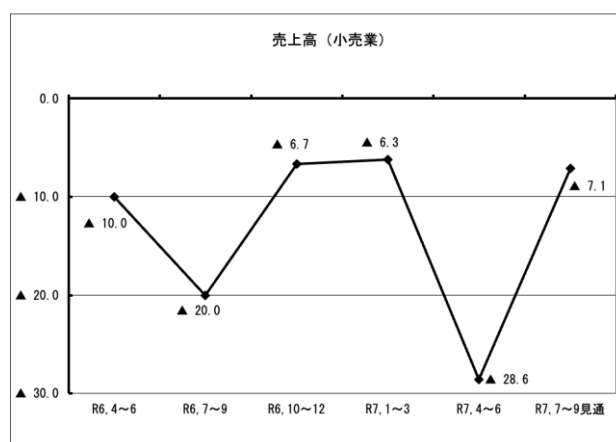
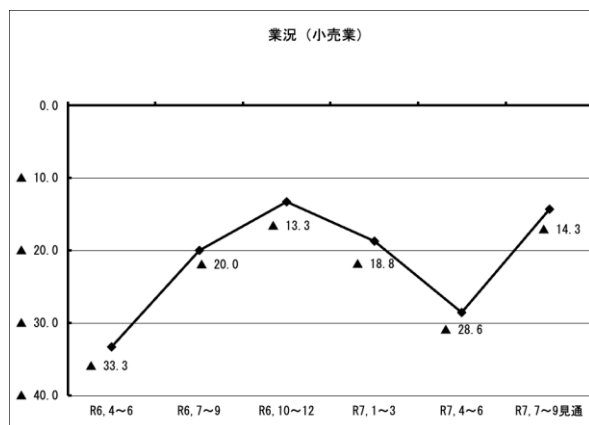
小売業

小売業の業況 DI は▲28.6 で前回調査に比べて9.8ポイント低下した。2 四半期連続の低下で令和7年に入ってからには低下の傾向が続いている。多田、1年前の令和6年4月～6月期に比べると数値は少し高い。7月～9月期見通しは▲14.3と持ち直しの予想になっている。

売上高 DI は▲28.6 で前回調査に比べて22.3ポイント低下した。前回前々回と同じような▲6程度であったが今回は一気に悪化している。一方で、7月～9月期見通しは▲7.1と今回調査の下げ分がそのまま上昇すると予想されており、季節的なものと思われるようである。

採算 DI は▲42.9 で前回調査より16.2ポイント低下した。前回調査まで傾向としては上昇の流れにあるかと思われたが今回調査では1年前よりも低い値にまで落ち込んだ。7月～9月期見通しも▲42.9なので採算は好転しないようである。

資金繰り DI は▲7.1 で前回調査より0.4ポイント低下した。前回調査で▲6.7として今回調査も同じような数値であるので、令和7年に入って資金繰りは安定してきたようである。7月～9月期見通しも▲7.1なので見通しもこの調子とされている。



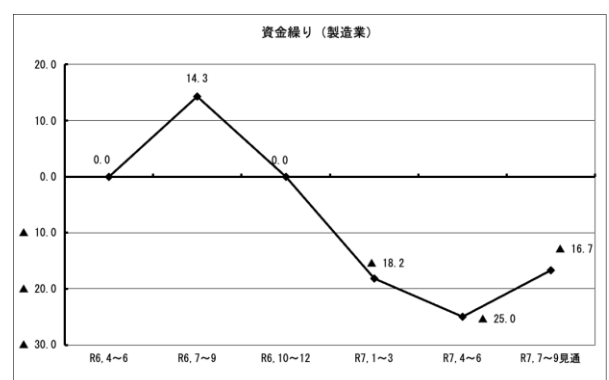
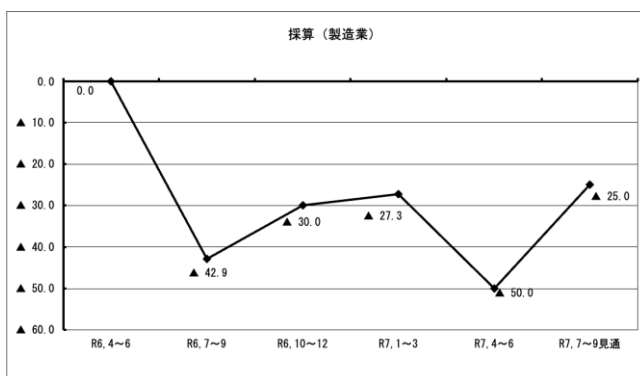
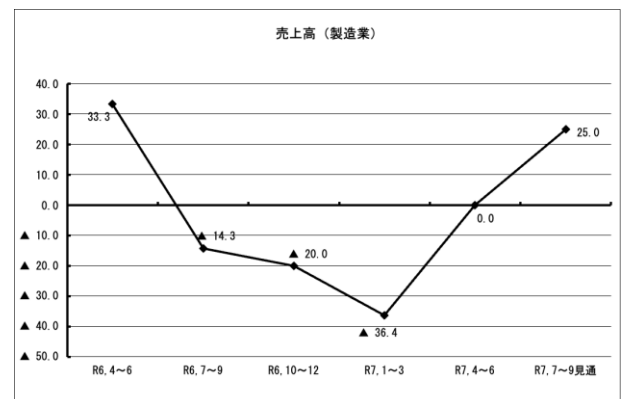
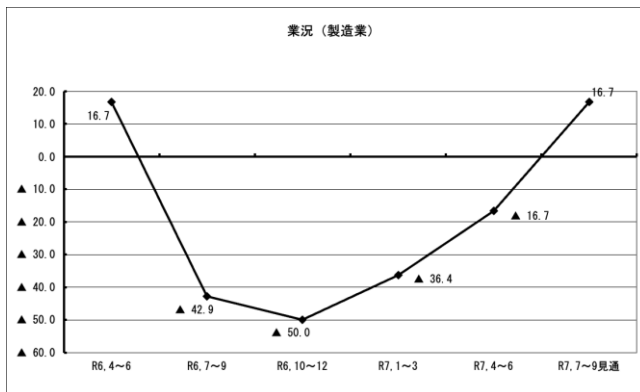
製造業

製造業の業況 DI は▲16.7 と前回調査の▲36.4 から 19.7 ポイント上昇した。2 四半期連続の上昇である。前回調査の見通しの▲9.1 には届かなかったが、20 ポイント近くの上昇である。7 月～9 月期見通しは+16.7 とさらに上昇が見込まれているので、製造業の業況は良くなってきていると考えられる。

売上高 DI は 0.0 で前回調査と較べて 36.4 ポイント上昇した。前回調査まで 3 四半期連続の低下であったが今回調査で一気に 0.0 まで持ち直した。1 年前の 33.3 にはまだまだ及ばないが、7 月～9 月期見通しはそれに近い 25.0 であり、売上高も順調のようである。

採算 DI は▲50.0 で前回調査に比べて 22.7 ポイント低下した。業況、売上高の動きとは逆の動きになっている。7 月～9 月期見通しは▲25.0 なので採算も改善される見通しではあるが、業況、売上高の改善程にはいたらない見込みである。

資金繰り DI は▲25.0 で前回調査より 6.8 ポイント低下した。3 四半期連続の低下で過去 1 年では最低の数値である。前回調査では 4 月～6 月期見通しを上昇としていたが、実際には低下してしまった。7 月～9 月期見通しは▲16.7 と上昇を見込んでいる。



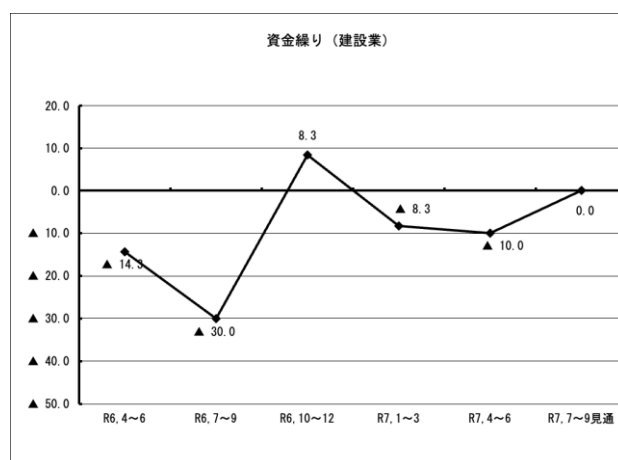
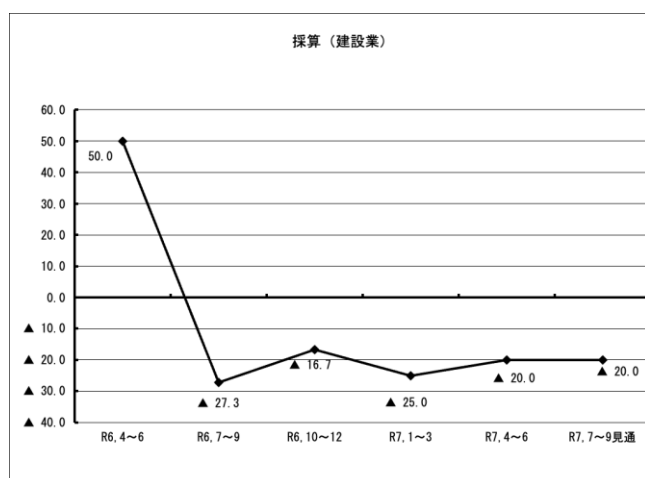
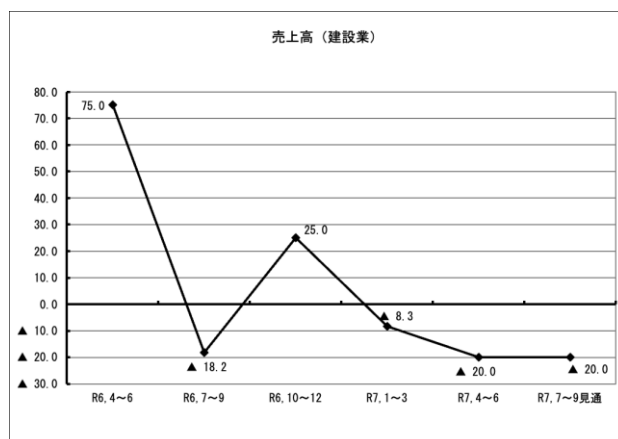
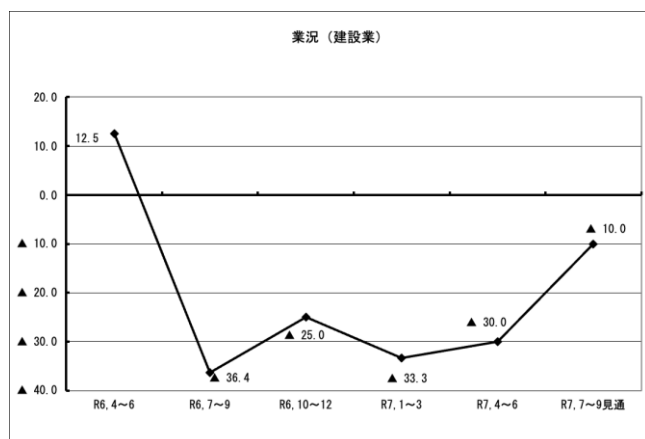
建設業

建設業の業況 DI は▲30.0 であり前回調査から 3.3 ポイント低下した。令和 6 年 7 月～9 月期から 4 四半期連続で▲30 近辺の数値であり、建設業のここ 1 年は厳しい状況のように見える。7 月～9 月期は▲10.0 と回復の兆しを見通している。

売上高 DI は▲20.0 で前回調査の▲8.3 から 11.7 ポイント低下した。前々回調査で 25.0 となり、前回調査で▲8.3 と落ち込み今回調査ではさらに落ち込むと言う結果になった。結果的に過去 1 年で見ると前々回調査時点が特別に良い数値であったことになる。7 月～9 月期見通しも▲20.0 で売上高の改善は期待されていない。

採算 DI は▲20.0 で前回調査の▲25.0 から 5.0 ポイントの上昇である。令和 6 年 7 月～9 月期に▲27.3 となって以来▲20.0 近辺を上下する動きになっとり、採算もここ 1 年間悪化しているようである。7 月～9 月期見通しも改善されず▲20.0 なので見通しはよくない。

資金繰り DI は▲10.0 で前回調査に比べて 1.7 ポイント低下した。資金繰りも過去 1 年間を見ると令和 6 年 10 月～12 月期の 8.3 以外はマイナスであり、建設業は資金繰りも芳しいとは言えない。



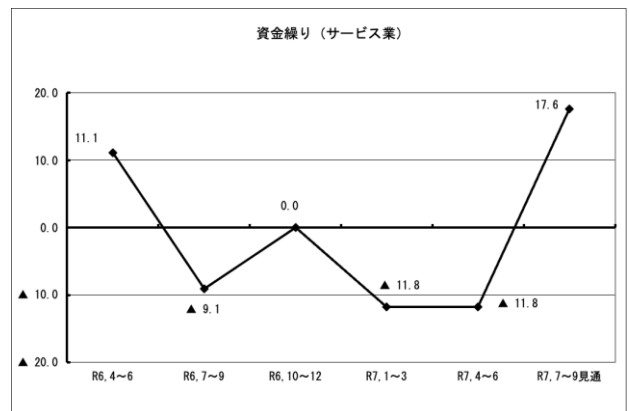
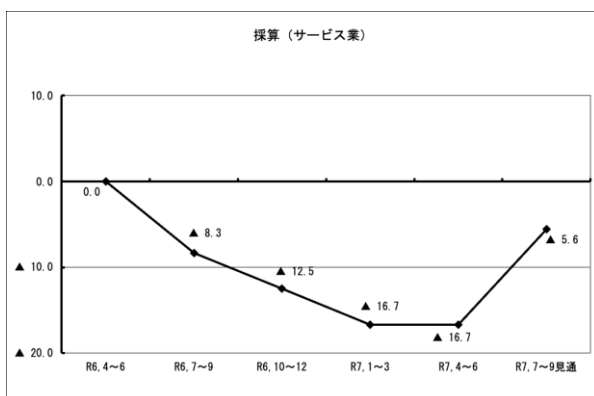
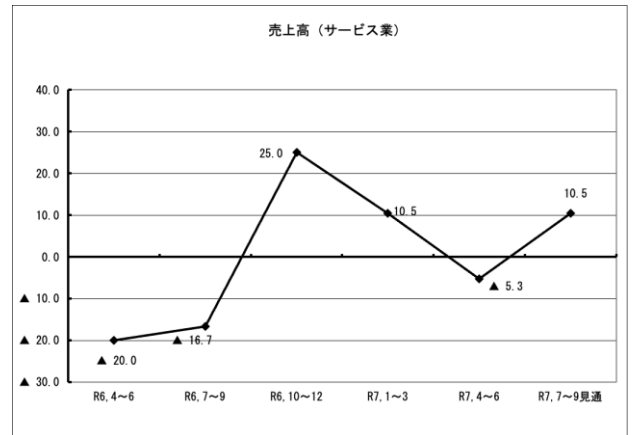
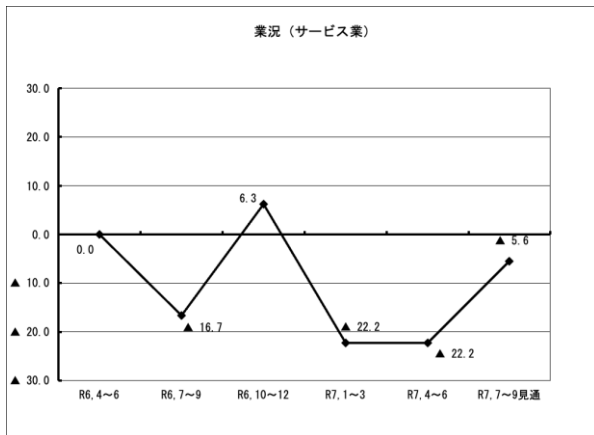
サービス業

サービス業の業況 DI は▲22.2 で前回調査と同じ数値であった。前回調査時点では4月～6月期見通しを0.0としていたので、見通しがかなり狂ったようにも見える。1年前の令和6年4月～6月期は0.0であったので、基調としては悪化の基調であったと思われる。7月～9月期見通しは▲5.6であり改善の見通しになっている。

売上高 DI は▲5.3 で前回調査より 15.8 ポイント低下した。2 四半期連続で低下して、前々回調査と比べると 30 ポイント以上の低下である。1 年前の令和6年4月～6月期は▲20.0 であったのでそこから見れば売上は上昇基調と言える。7月～9月期見通しは 10.5 で明るい見通しとなっている。

採算 DI は▲16.7 で前回調査と同じ数値であった。前回調査で3 四半期連続の低下で今回は横ばいという結果であった。サービス業の採算はここ1 年間悪化傾向が続いていると考えられる。しかし、7月～9月期見通しは▲5.6 で採算も改善する見込みとなった。

資金繰り DI は▲11.8 で前回調査と同じ数値であった。令和6年4月～6月期が 11.1 と突出しているがサービス業の資金繰りは過去1 年マイナス数値の基調であった。7月～9月期は他の指標と同じく 17.6 と改善が見込まれている。



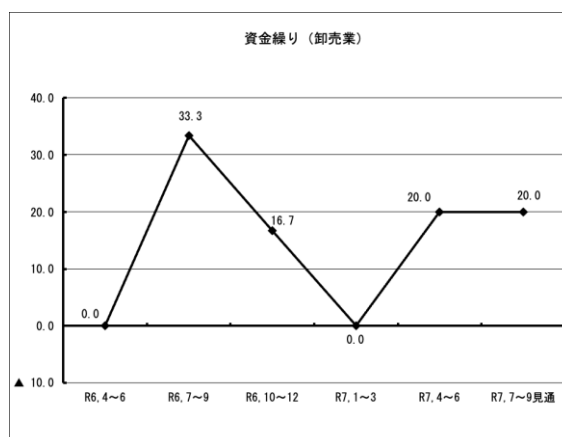
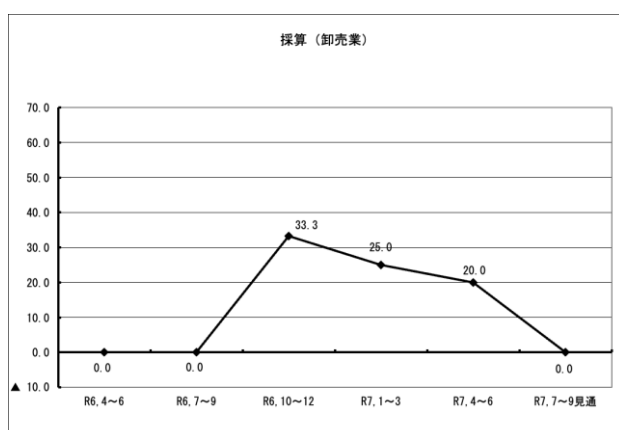
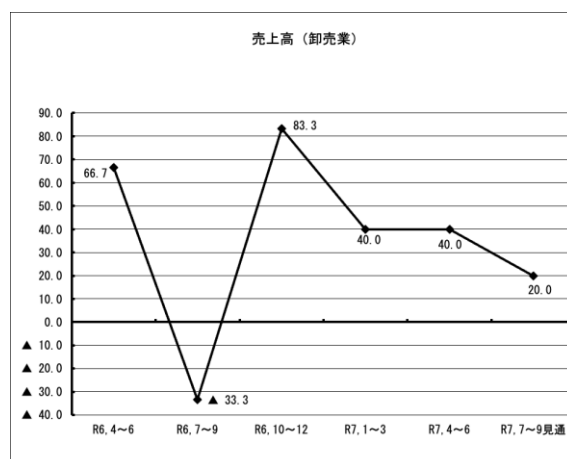
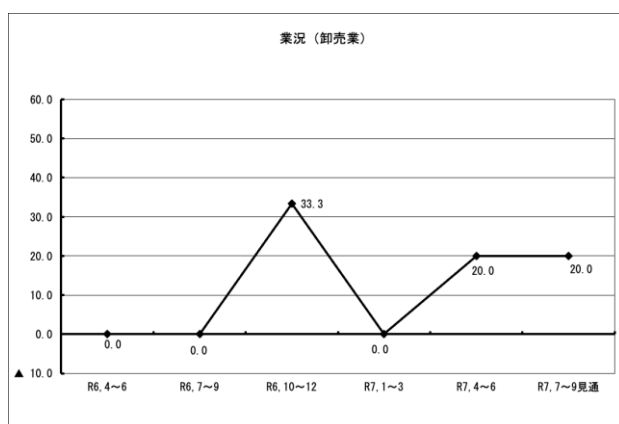
卸売業

卸売業の業況 DI は 20.0 で前回調査に比べて 20.0 ポイント上昇した。前回調査で 0.0 になったが、今回は反発した。卸売業の業況は過去 1 年で見ると 0.0 を基調としているようであるが、7 月～9 月期見通しは 20.0 で今回調査の結果を継続しそうであり、プラス転換する可能性がある。

売上高 DI は 40.0 で前回調査と同じ数値であった。令和 6 年 7 月～9 月期が▲33.3 と大きく落ち込んでいるもののその他の各期はプラス 40 以上の高い数値になっており、卸売業の売上高は好調のようである。7 月～9 月期見通しは 20.0 と落すもののプラス数値である。

採算 DI は 20.0 で前回調査より 5.0 ポイント低下した。2 四半期連続で低下した。僅かずつの低下ではあるが、7 月～9 月期見通しは 0.0 と一気に 0.0 まで落ちるので採算は落ちてきていると考えることができる。

DI 資金繰り DI は 20.0 で前回調査より 20.0 ポイント上昇した。前回調査では 0.0 となったが、過去 1 年を振り返ると令和 6 年 4 月～6 月期が 0.0、前回調査が 0.0 となっているが他の 3 回の調査ではプラスの数値であり、概ね資金繰りは良好であると思われる。7 月～9 月期見通しも 20.0 でこの傾向は続くと見られている。



DI 指数一覧表

	昨年の同期との比較					
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し
全 体	▲ 20.3	▲ 1.7	▲ 8.3	5.0	▲ 27.1	▲ 20.3
小売業	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 7.1	▲ 42.9	▲ 42.9
製造業	▲ 16.7	16.7	0.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0
建設業	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
サービス業	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 5.3	10.5	▲ 16.7	▲ 5.6
卸売業	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0

	該当期について				昨年の同期との比較	
	採算（経常利益）水準		取引の問い合わせ		従業員	
	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し
全 体	6.8	20.7	▲ 10.9	▲ 9.3	▲ 10.2	5.2
小売業	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 9.1	0.0	▲ 7.7	0.0
製造業	▲ 16.7	33.3	0.0	8.3	8.3	25.0
建設業	30.0	30.0	▲ 33.3	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 20.0
サービス業	11.1	17.6	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 15.8	10.5
卸売業	60.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0

	3 カ月前との比較					
	資金繰り		長期借入れ難易度		短期借入れ難易度	
	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し	4～6 月期動 向	7～9 月期見 通し
全 体	▲ 10.3	1.7	2.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0
小売業	▲ 7.1	▲ 7.1	0.0	▲ 18.2	0.0	▲ 18.2
製造業	▲ 25.0	▲ 16.7	8.3	8.3	8.3	8.3
建設業	▲ 10.0	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 11.1
サービス業	▲ 11.8	17.6	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.7
卸売業	20.0	20.0	33.3	33.3	33.3	0.0

過去からの動向

